



平成21年4月9日

各位

会社名 特種東海ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 三澤清利
 (コード番号 3708 東証第一部)
 お問合せ先 財務・IR室長 三谷充弘
 TEL 03(3281)8581

生産設備の効率化に伴う特別損失の計上及び
 平成21年3月期第4四半期の有価証券評価損に関するお知らせ

当社は、下記の通り特別損失を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損について

当社連結子会社である東海パルプ株式会社は、不採算事業から撤退し、競争力のある分野へ経営資源を集中させ、経営体質の強化を図ります。これに伴い、抄紙機1台について減損処理を行い、平成21年3月期決算において減損損失460百万円を特別損失に計上する予定であります。

種類	場所	減損損失見込額
機械装置等	静岡県島田市	460百万円

2. 平成21年3月期第4四半期における有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価又は実質価額が著しく下落しているものについて、平成21年3月期第3四半期において減損処理による有価証券評価損を計上いたしました。四半期会計期間末における有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え方式を採用しているため、平成21年3月期第4四半期におきましては、下記の通り洗替えが発生いたしました。

	連結
(A) 平成21年3月期第4四半期会計期間(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)の有価証券評価損の総額(=イーロ)	△513百万円
(イ) 平成21年3月期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)の有価証券評価損の総額	112百万円
(ロ) 直前四半期(平成21年3月期第3四半期)累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)の有価証券評価損の総額	626百万円

※ 当社の決算期末は3月31日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	連結
(B) 平成20年3月期末の純資産額	61,985百万円
(A/B×100)	△0.8%
(イ/B×100)	0.2%
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額	1,580百万円
(A/C×100)	△32.5%
(イ/C×100)	7.1%
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額	729百万円
(A/D×100)	△70.4%
(イ/D×100)	15.4%

3. 今後の見通し

平成21年3月期の通期業績予想(連結・個別)につきましては、現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には速やかにお知らせいたします。

以上